

# ミヤマコゴメグサ

*Euphrasia insignis* Wettst. subsp. *insignis* var. *insignis*  
ハマウツボ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

分布が局限し、生育地、個体数とも極めて少ないと判断されるが、情報不足。

## 分 布

本州（中部地方）に分布する。県内では敦賀市、南越前町、池田町、大野市で確認されている。

## 種の特徴

高山の草地に生える一年生草本。茎は直立し、高さ6～20cm、白毛がある。葉は倒卵形またはへら状、対生で長さ6～12mm。花期は7～9月、上部の葉腋に1花をつける。花弁は白色で淡紫色を帯びる。

## 生育を脅かす要因

産地の局限と温暖化、自然遷移の進行が生育を脅かす要因となる。

参考文献 佐竹義輔ほか（1981）、福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
						○		○	○							○	

# シオガマギク

*Pedicularis resupinata* L. subsp. *oppositifolia* (Miq.) T.Yamaz.  
ハマウツボ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

大部分の生育地で生育環境が悪化し、生育地、個体数ともに減少傾向にあると判断されるが、情報不足。

## 分 布

北海道～九州に分布する。県内では嶺南、嶺北、奥越地方で自生が確認されている。

## 種の特徴

山の日当たり良い草地に生える多年生草本。茎は高さ25～60cm、葉は下部ものは対生、中部以上は互生。花期は8～9月。茎や枝の上部に広卵形で、苞葉状の小さな葉が密につき、その腋に花をつける。花冠は紅紫色で、長さ2cmになり、一方にねじれて2裂した唇形になる。

## 生育を脅かす要因

人間の生活域の近くに分布するため生育地が土地造成などの開発の対象となりやすい。また自然遷移の進行も生育を脅かす要因となる。

参考文献 佐竹義輔ほか（1981）、福井県自然保護課編（2004）、福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○		○		○			○						○	○	○

# サワシロギク

*Aster rugulosus* Maxim.  
キク科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

県内では1箇所での確認記録しかない。

## 分 布

本州～九州に分布。県内では勝山市で確認されている。

## 種の特徴

日当たりの良い湿原に生える多年草。茎は細く、高さ50～60cm。葉は線状披針形、まばらに鋸歯があるか全縁、表面の脈はへこむ。花期は8～10月。長い柄のある頭花を少数つける。舌状花は1列、白色のちに紅紫色を帯びる。

## 生育を脅かす要因

生育地である湿地の乾燥化、植生遷移。

参考文献

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
															○		